

- 10月のミシガン大学消費者マインド指数の速報値は市場予想に反し、3ヵ月ぶりに低下。家計の状況が悪くなったとの比率は1年ぶり高水準、収入が高くなったとの比率はおよそ12年ぶり低水準に。
- 消費者期待調査では、債務延滞予想確率が4年半ぶりの高水準に。ミシガン大学やニューヨーク連銀の調査から、家計の厳しさが増している様子が見え、米消費者マインドの動向に注意が必要。

1年後の予想物価上昇率は上昇も、総じて落ち着き

11日に発表された10月のミシガン大学消費者マインド指数の速報値は68.9と、前月の確報値の70.1から71.0へ上昇すると市場予想（ブルームバーグ集計）に反し、3ヵ月ぶりに低下しました。

内訳をみると、現在の景況感は2ヵ月ぶりに、先行きの景況感は3ヵ月ぶりにそれぞれ低下しました。

1年後の予想物価上昇率は2.9%と、2020年12月以来、3年9ヵ月ぶりの低水準だった前月の2.7%から上昇しました。一方、5-10年後の予想物価上昇率は3.0%と、昨年11月以来、10ヵ月ぶりの高水準だった前月の3.1%から低下しました。

消費者の債務延滞予想確率は4年半ぶりの高水準

1年前と比較して現在の家計の状況が悪くなったとの比率は昨年10月以来、1年ぶりの水準へ上昇しました。これに対し、収入が高くなったとの比率は2012年7月以来、およそ12年ぶりの低水準を記録した前月と同水準にとどまりました。

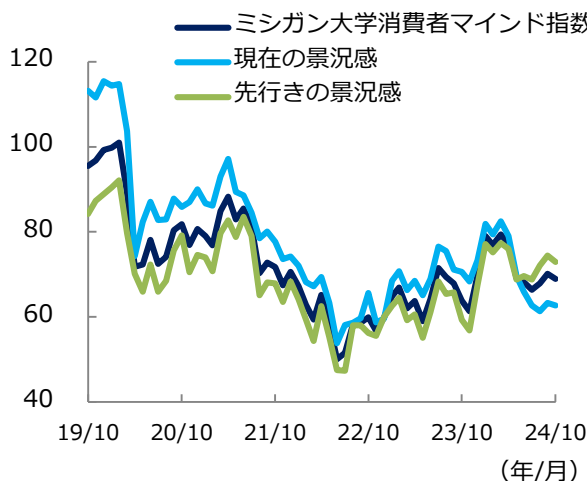
ミシガン大学は、1年前から消費者マインド指数は上昇し、インフレ懸念は和らいだものの、消費者は引き続き高水準の物価に不満を示しているとしました。

これとは別に、9日にニューヨーク連銀が発表した8月の消費者期待調査では、消費者が今後3ヵ月に債務の最低返済額を滞納すると予想する確率*が13.6%と、2020年4月以来、およそ4年半ぶりの高水準となりました。

9月の米消費者物価指数（CPI）が前年同月比+2.4%と、6ヵ月連続で伸びが鈍化し、2021年2月以来の低水準となるなど、物価の伸びは足もとで総じて落ち着きをみせています。

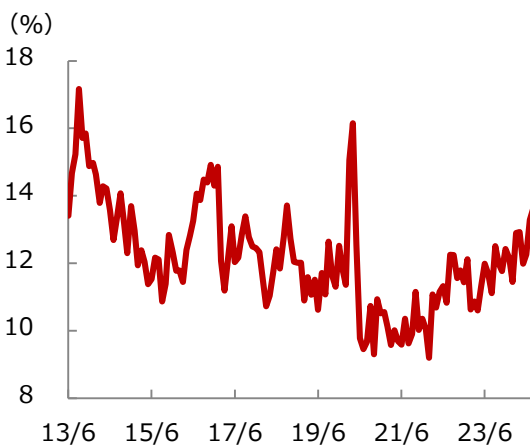
しかし、ミシガン大学やニューヨーク連銀の調査から、家計の厳しさが増している様子が見え、米消費者マインドの動向に注意が必要です。

消費者マインド指数の推移



※期間：2019年10月～2024年10月（月次）
2024年10月は速報値。1966年=100とする

消費者の債務延滞予想確率*



※期間：2013年6月～2024年8月（月次）

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。



アセットマネジメントOne

商号等：アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。